

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第101期中間期（自平成15年4月1日 至平成15年9月30日）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業の設備投資の持ち直しと輸出環境の改善を足掛かりに、緩やかな景気回復傾向が見られました。

工作機械業界におきましても、自動車業界の堅調な受注と一般機械分野からの受注が回復し、全般では受注実績は前年同期に比べて増加しました。

このような状況の下で、当社は長年培った精密加工のノウハウをもとに、更に高度化するITおよび自動車関連のニーズを先取りした新製品CNC精密自動旋盤BW12/20、CNC高精密旋盤C300、CNC精密転造盤R7NCを市場に投入して参りました。

開発の成果が実を結びましたこれらの新製品を中心に、国内、アジア、米国、欧州において積極的に展示会に出品し、直接ユーザーにPRする等、販売活動を活発に行って参りました。

売上高につきましては、当中間期も引き続き厳しい環境でありましたが、新規ユーザーの開拓を積極的に行いました結果、前年同期比7.6%増の7,350百万円となりました。

国内は前年同期比37.5%増の5,046百万円と順調に伸びましたが、輸出につきましては、アジア地区が一時的に減少しました結果、輸出額は前年同期比27.1%減の2,304百万円となりました。

また、輸出比率は31.3%となりました。

機種別の売上高につきましては、主力の自動旋盤は自動車関連が伸びましたが、IT関連ではやや伸び悩み、前年同期比2.3%減の3,886百万円となりました。研削盤の売上高は自動車関連向けが好調で前年同期比14.5%増の1,016百万円となりました。マシニングセンタの売上高は前期より本格的に拡販しました立形マシニングセンタが寄与し前年同期比1.4%増の659百万円となりました。転造・ラップ盤の売上高は前年同期比0.4%増の420百万円、その他の製品の売上高は前年同期比52.4%増の1,366百万円となりました。

当中間期の損益につきましては、営業利益は148百万円、経常利益は164百万円、当中間期純利益は、たな卸資産の評価損等を特別損失に計上をしましたため15百万円となりました。

配当につきましては、企業体質の強化を図りつつ配当可能な業績を確保すべく、全社を挙げて努力して参る所存であります。このような厳しい状況にありますので、まことに申し訳ありませんが、実施を見送らせていただきました。

平成16年3月期の見通しといたしましては、引き続き厳しい経営環境が続くと思われませんが、電機、自動車、医療等の成長分野を狙った新製品の投入と、中国、東南アジア等の成長地域に適合した戦略を展開すると共に、経営の効率化と顧客満足度の向上に努め、売上高15,000百万円、経常利益320百万円の達成に向けて、現在、全員一丸となり最大限の努力に注力中であります。株主の皆様には、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

取締役社長

西嶋尚生

中間貸借対照表

(平成15年9月30日現在) (単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	15,522	流動負債	3,670
現金及び預金	1,600	支払手形	2,376
受取手形	2,064	買掛金	682
売掛金	4,673	未払金	135
製品	2,351	未払法人税等	5
仕掛品	2,983	未払消費税等	56
原材料・貯蔵品	1,334	未払費用	140
未収入金	376	賞与引当金	126
その他	138	その他	147
貸倒引当金	△ 3	固定負債	332
固定資産	7,753	退職給付引当金	283
有形固定資産	5,403	その他	48
建物	2,406	負債合計	4,002
構築物	117	(資本の部)	
機械装置	1,600	資本金	10,599
車両運搬具	3	資本剰余金	9,138
工具・器具備品	205	資本準備金	4,138
土地	1,068	その他資本剰余金	5,000
建設仮勘定	1	利益剰余金	△ 120
無形固定資産	14	中間未処理損失	120
投資その他の資産	2,334	株式等評価差額金	△ 52
投資有価証券	1,745	その他有価証券評価差額金	△ 52
関係会社株式	474	自己株式	△ 292
関係会社出資金	2		
長期貸付金	125		
長期債権	179		
その他	52		
貸倒引当金	△ 245	資本合計	19,272
資産合計	23,275	負債・資本合計	23,275

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(自平成15年4月1日
至平成15年9月30日)

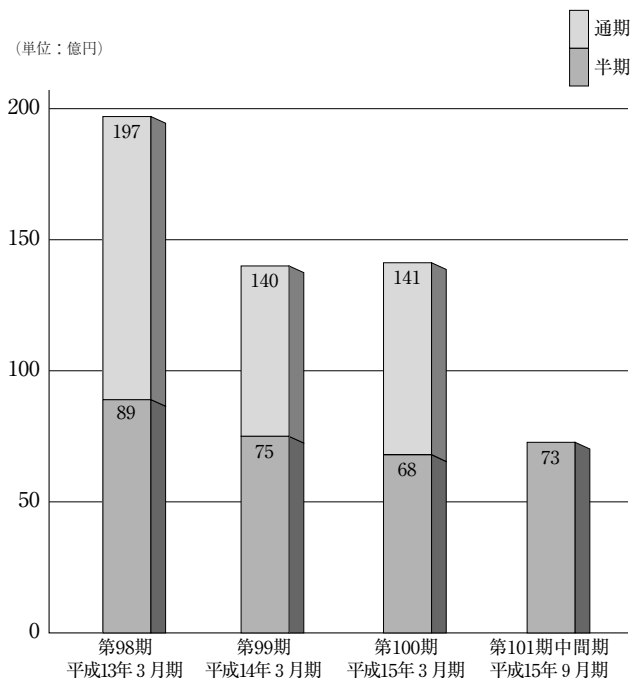
(単位：百万円)

科 目		金 額		
経常損益の部	営業損益の部	営業収益 売上高	7,350	
	営業費用 売上原価 販売費及び一般管理費	6,581 620	7,201	
	営業利益		148	
	営業外損益の部	営業外収益 受取利息及び配当金 その他の営業外収益	12 51	63
		営業外費用 支払利息 その他の営業外費用	5 42	47
		経常利益		164
特別損益の部	特別利益 投資有価証券売却益 貸倒引当金戻入益	104 9	113	
	特別損失 たな卸資産評価損 その他	204 52	257	
	税引前中間純利益 法人税、住民税及び事業税		20 5	
	中間純利益 前期繰越損失 中間未処理損失		15 135 120	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績の推移

● 売上高



● 営業成績および財産の状況の推移

区 分	第100期中間期 (平成14.4~14.9)	第 100 期 (平成14.4~15.3)	第101期中間期 (平成15.4~15.9)
売 上 高(百万円)	6,830	14,194	7,350
経 常 利 益 または経常損失(△)(百万円)	△ 283	△ 166	164
中間(当期)純利益または 中間(当期)純損失(△)(百万円)	△ 693	△ 972	15
1株当たり中間(当期)純利益または 1株当たり中間(当期)純損失(△)(円)	△ 7.79	△ 10.96	0.18
総 資 産(百万円)	26,481	25,041	23,275
純 資 産(百万円)	19,398	18,827	19,272
1株当たり純資産(円)	217	215	221

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

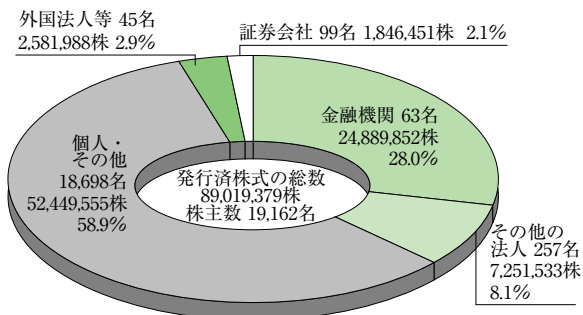
(平成15年9月30日現在)

- ①会社が発行する株式総数 160,000,000株
- ②発行済株式の総数 89,019,379株
- ③株主数 19,162名
(前期比154名減)
- ④大株主

株主名	持株数	議決権比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託東京精密口)	4,592千株	5.33%
株式会社森精機製作所	3,308	3.84
株式会社三井住友銀行	2,416	2.80
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,826	2.12
第一生命保険相互会社	1,800	2.09
日本生命保険相互会社	1,532	1.78
ツガミ取引先持株会	1,522	1.76
株式会社北越銀行	1,484	1.72
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,382	1.60
日本証券金融株式会社	943	1.09

- (注) 1. 議決権比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は株式会社三井住友銀行の完全親会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループの普通株式を424千株(議決権比率0.00%)所有しております。
 3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託東京精密口)の持株数4,592千株は、株式会社東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は株式会社東京精密が留保しております。また、当社は株式会社東京精密の株式65千株(議決権比率0.17%)を所有しております。
 4. 上記表以外に株主名簿上自己株式が2,100千株あります。このうち当社の実質の自己株式の所有数は2,099千株であります。

⑤所有者別株式分布状況



⑥株価および売買高(東京証券取引所市場第一部)

年/月	平成14/10	11	12	平成15/1	2	3	4	5	6	7	8	9
株価(円)	170	159	125	135	147	144	143	141	202	229	223	245
売買高(千株)	3,114	5,130	4,010	2,806	2,609	2,516	3,160	4,276	16,702	14,469	6,782	11,215

(注) 株価の上段は最高株価、下段は最低株価を示しております。

会社の概要

(平成15年9月30日現在)

①設立 昭和12年3月

②資本金 10,599百万円

③主要営業品目

●工作機械

CNC精密自動旋盤

CNC精密研削盤

横形精密マシニングセンタ

立形精密マシニングセンタ

CNC精密転造盤

精密ラップ盤

CNC精密自動旋盤BF20



CNC精密円筒研削盤G18FB



●測定器・原器

精密測定器

ゲージブロック

●その他

ねじインサート(E-サート)

ロールダイス

スプライン

ゲージブロック



立形高速精密マシニングセンタVMA4



④本社・工場

本社 東京都港区浜松町1丁目26番1号

長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号

信州工場 長野県佐久市大字中込3600番地

⑤従業員の状況

区分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	376名	13名増	42.9歳	19.6年
女性	54	2名減	35.0	13.7
計または平均	430	11名増	41.9	18.9

(注) 従業員数は就業人員であり、当社より他社への出向者(84名)を含んでおりません。



(平成15年9月30日現在)

取締役社長	西	嶋	尚	生
常務取締役	柏		誠	四郎
常務取締役	菊	池	克	治
常務取締役	大	宮	郁	士
取締役相談役	野	口		光
取締役	小	林	哲	男
取締役	相	沢	静	雄
常勤監査役	三	谷	文	彦
常勤監査役	片	桐	亮	太
監査役	中	里		博
監査役	梅	岡	匡	爾

(注) 常勤監査役三谷文彦および監査役梅岡匡爾は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

決 算 期 3月31日

定 時 株 主 総 会 6月

配 当 金 支 払 確 定 日 3月31日

なお、中間配当を実施するときの中間配当金支払株主確定日は、9月30日であります。

株式の名義書換

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番3号

同 事 務 取 扱 所 UFJ信託銀行株式会社証券代行部
郵便番号 137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 (03) 5683-5111 (代表)

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店営業所

公 告 掲 載 紙 官 報

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所、大阪証券取引所

お知らせ

株式の事務手続き（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、名義書換代理人のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話（通話料無料）

0120-24-4479（本店証券代行部）

0120-68-4479（大阪支店証券代行部）

インターネットアドレス<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株式保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

